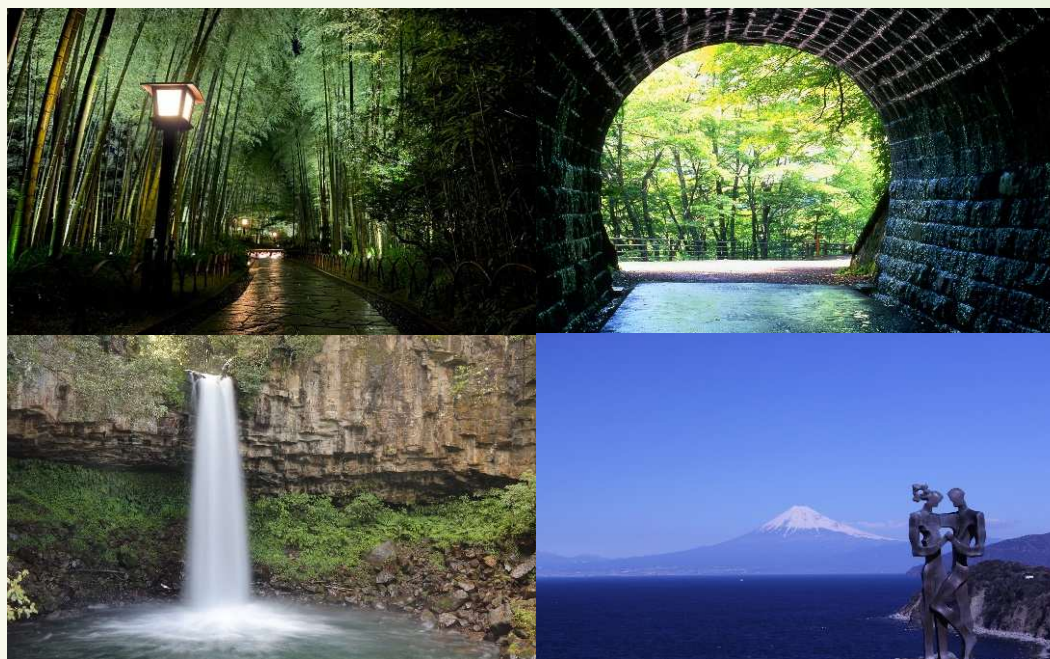


伊豆市の

令和7年度 わかりやすい予算書



総合政策部 企画財政課

1. 予算の基礎知識

■「予算」って何？・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

■予算はどうやって決まるの？・・・・・・・・・・ 4

2. 伊豆市の当初予算について

■令和7年度の予算はいくら？・・・・・・・・・・ 5

3. 歳入予算について

■どのような歳入があるの？・・・・・・・・・・ 6

■市税にはどのようなものがあるの？・・・・・・・・ 7

■伊豆市にはどのくらい借金があるの？・・・・・・・・ 8

■なぜ借金をするの？・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

目次

4.歳出予算について

■どのように使われるの? 10

5.主要事業について

■令和7年度の伊豆市の主要事業は何があるの? . 12

I. 予算の基礎知識

Q 予算って何？

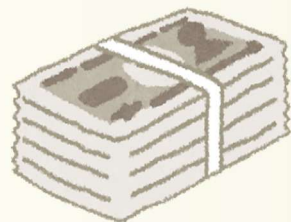
A 市の1年間の収入と支出の見積りのことです。

市では、福祉、教育、ごみ処理、道路の整備など、様々な事業をしていますが、どのような事業に、いくらお金を使うかをあらかじめ決めておく必要があります。

そこで、市が4月1日から翌年3月31日までの1年間に入ってくるお金を見積り、その見積もったお金の範囲内で、使い道を計画したものが、

「**予算**」になります。

予算書では、伊豆市に入ってくるお金を「**歳入**」、使うお金のことを「**歳出**」と呼んでいます。



I. 予算の基礎知識

Q 予算はどうやって決まるの？

- A 各事業の担当課が向こう1年間の行政サービスを検討し、必要な予算を要望します。その後、要望内容の査定を行い予算案を作成します。
予算案は市議会に提出され、内容の審議を経た後に、議決を受けて予算が決まります。



一度決まった予算は変えることができるの？

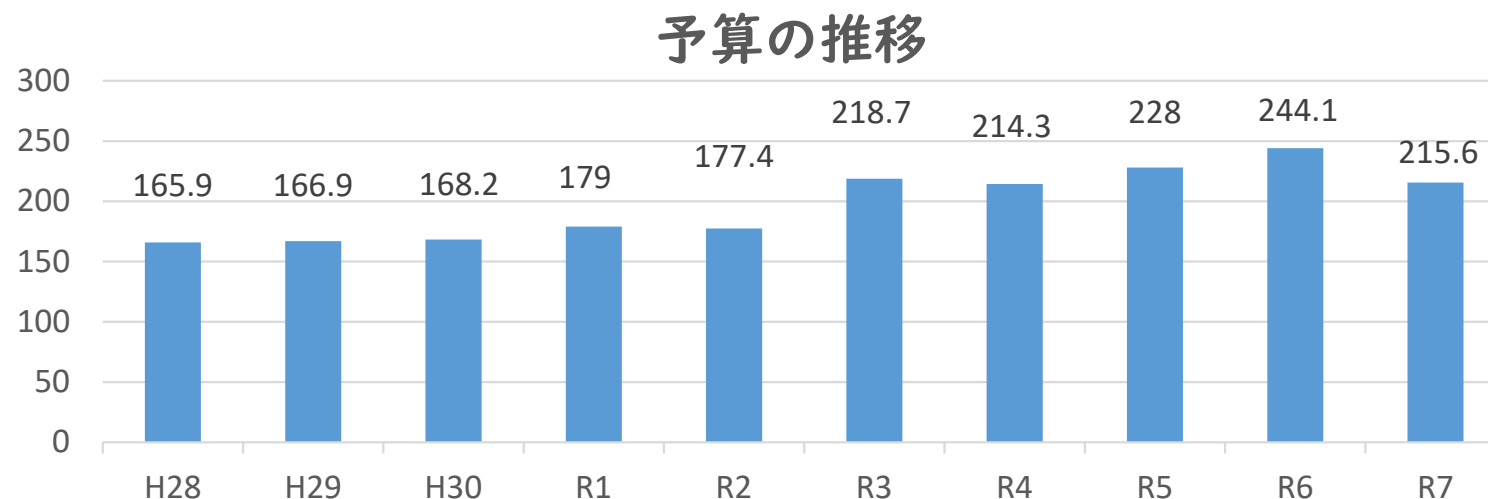
不測の事態が生じた場合は、「**補正予算**」を組み、議会で議決を受けることで、予算を変更することができます。



2.伊豆市の当初予算について

Q 令和7年度の予算はいくら？

A 令和7年度の予算額は**215億6,200万円**で、前年度から28億4,600万円、**11.7%の減**となりました。



令和7年度は去年と比べてかなり予算額が減っているけどどうしてなの？



これまで進めてきた伊豆中学校や新リサイクルセンターの整備が完了したことにより、予算額が大きく減少しました。



3.歳入予算について

Q どのような歳入があるの？

A 市民の皆様から納めていただく市税や、国や県からの補助金、市の借金である市債などがあります。

項 目	説 明	令和 7 年度予算額	前年度比 (増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	88億5,400万円	▲2億3,800万円
市税	皆さまから納めていただいた税金です。	42億3,700万円	+1億3,100万円
寄附金	ふるさと納税などにより、伊豆市に寄附していただいたお金です。	15億1,500万円	+400万円
繰入金	各種基金（市の貯金）を取り崩して使うお金です。	19億2,700万円	▲2億9,000万円
その他	施設の使用料や財産収入、前年度からの繰越金などです。	11億7,500万円	▲8,300万円
依存財源	国や県からの補助金や市債（借金）のことです。	127億800万円	▲26億800万円
国・県支出金	特定の事業に使うために、国や県から交付されるお金です。	36億2,300万円	▲3億7,700万円
地方交付税	一定の行政サービスを確保するために、国から県や市町村に交付されるお金です。	60億6,400万円	+2億4,700万円
市債	事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。	16億900万円	▲26億2,600万円
その他交付金等	国や県が集めた税金を各自治体へ分配する譲与税や地方消費税交付金などです。	14億1,200万円	+1億4,800万円
合 計		215億6,200万円	▲28億4,600万円

ポイント！



個人所得や企業収益の回復を見込み、市税が増加しました。一方で、伊豆中学校整備などの大型事業の完了により、市債の額が大きく減少しました。

自主財源が多いほど財政が安定し自由に使えるお金が多くなるため、ふるさと納税のさらなる増加や移住定住の促進など、自主財源の確保に取り組んでいます。

3.歳入予算について

Q 市税にはどのようなものがあるの？

A 伊豆市には、以下のとおり6種類の市税があります。

名 前	説 明	令和7年度予算額	前年度比 (増減額)
個人市民税	市民の方が給与などの所得に応じて納める税です。	13億2,000万円	+8,600万円
法人市民税	伊豆市内の会社などが収益などに応じて納める税です。	1億8,400万円	+3,700万円
固定資産税	伊豆市内に土地や建物などを持っている方が納める税です。	22億2,900万円	+1,300万円
軽自動車税	軽自動車などを持っている方が納める税です。	1億2,300万円	+300万円
市たばこ税	たばこを買った方が納める税です。	2億4,100万円	▲400万円
入湯税	温泉を使った入浴施設を利用した方が納める税です。	1億1,800万円	▲400万円

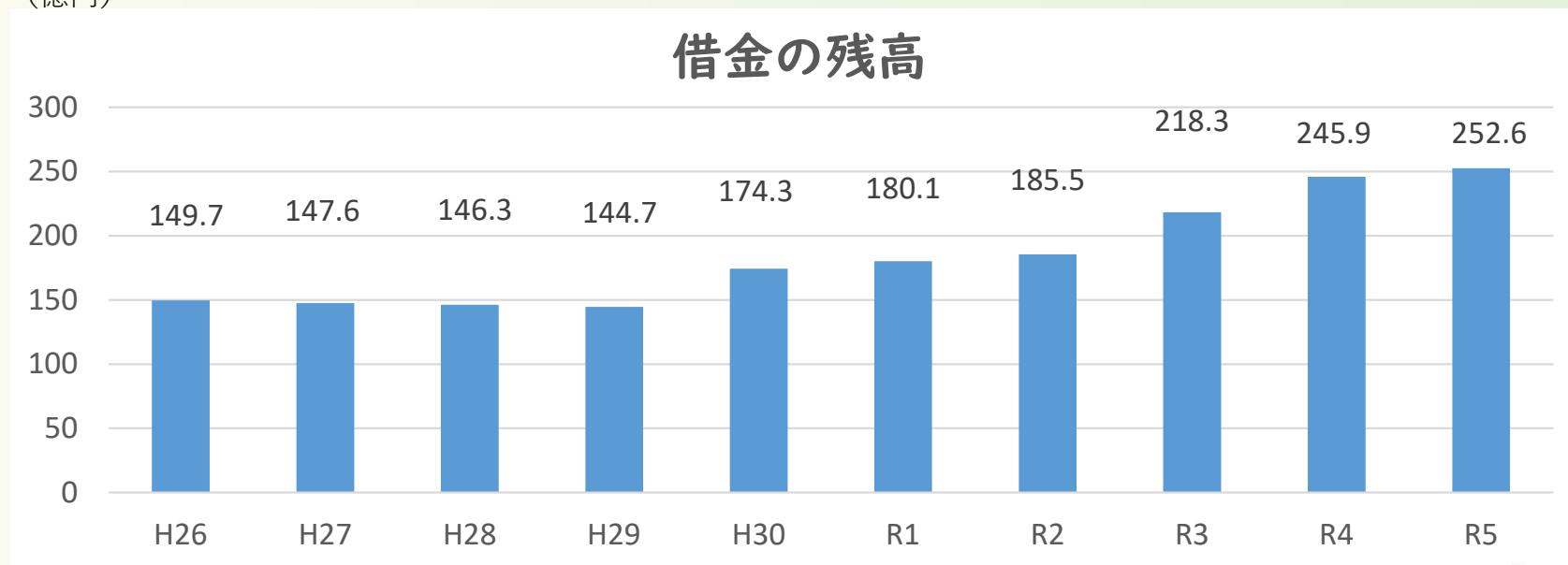


3.歳入予算について

Q 伊豆市にはどれくらい借金があるの？

A 伊豆市の借金は大型事業の影響により平成30年度から増加傾向となっており、令和5年度末の借金の残高は約252億6,100万円となりました。

(億円)



伊豆市はたくさん借金してるけど、
こんなに借金しても大丈夫なの？



借金の種類によっては、返済するお金の一部が地方交付税として国から交付されます。

伊豆市では、このような有利な借金を使うようにして将来の負担をなるべく少なくするようにしています。



3.歳入予算について

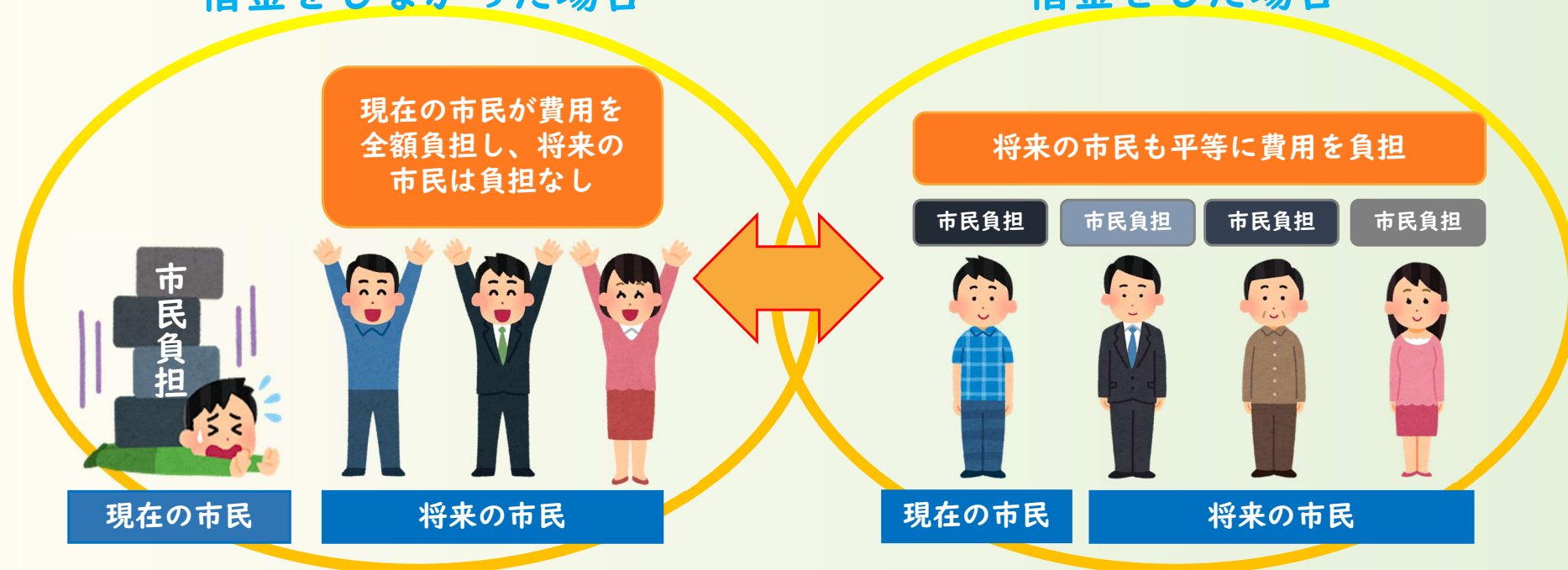
Q なぜ借金をするの？

A 大型事業にかかるお金をその年の収入だけで賄うと、その年に必要なほかの事業ができなくなってしまうため、借金をして財源を補っています。

例えば、道路や公園、建物などの長期間にわたって利用する施設を建設する場合に借金をしなかった場合、施設を整備した年に市税等で負担した世代と、その後負担なく利用する世代の間に不公平が生じてしまうことから、将来の世代にも負担を分配し、世代間の負担を公平にする役割もあります。

借金をしなかった場合

借金をした場合



4.歳出予算について

Q どのように使われるの？

A 令和7年度の予算は次のように使われます。

目的別

議会の運営に 0.6%  議会費 1億3,300万円	市役所の運営などに 18.2%  総務費 39億1,800万円	児童・高齢者福祉などに 24.6%  民生費 53億1,100万円	医療やごみ処理などに 7.7%  衛生費 16億5,100万円
雇用拡大の施策などに 0.1%  労働費 1,500万円	農林業の振興などに 2.5%  農林水産業費 5億4,200万円	産業や観光の振興などに 3.7%  商工費 7億9,400万円	道路や公園などの整備に 10.3%  土木費 22億2,200万円
消防活動や防災などに 8.3%  消防費 17億8,800万円	学校教育などに 8.6%  教育費 18億5,200万円	借金の返済に 10.4%  公債費 22億4,600万円	貯金の積立てなどに 5.0%  10億9,000万円

4.歳出予算について

性質別

項 目	説 明	令和7年度予算額	前年度比 (増減額)
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	81億8,600万円	+5億2,500万円
人件費	職員の給料や議員の報酬などに使う経費です。	33億3,700万円	+1億3,700万円
扶助費	福祉や医療などに使う経費です。	26億200万円	+1億1,400万円
公債費	市の借金を返済するための経費です。	22億4,700万円	+2億7,400万円
投資的経費	道路、建物等の公共施設の整備や災害復旧に係る経費です。	27億2,300万円	▲38億1,000万円
その他経費	物件費や補助費等のその他の経費です。	106億5,300万円	+4億3,900万円
物件費	光熱水費や消耗品費、委託料などの経費です。	42億9,000万円	+3億2,200万円
維持補修費	施設の維持管理に使う経費です。	6,900万円	▲1,800万円
補助費等	ほかの団体への補助金や負担金などの経費です。	34億9,000万円	+1億5,500万円
積立金	各種基金（市の貯金）への積立てにかかる経費です。	10億6,000万円	▲400万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	17億1,400万円	▲1,600万円
予備費	緊急に必要となる場合に備えて用意している経費です。	3,000万円	0万円
合 計		215億6,200万円	▲28億4,600万円

ポイント！



伊豆中学校整備や新リサイクルセンター整備など、大型事業の完了により、投資的経費が大きく減少しています。
一方で、令和3年度に借りた借金の返済が開始するため、公債費が増加しました。

5.主要事業について

Q 令和7年度の伊豆市の主要事業は何があるの？

A 令和7年度は、最終年を迎える第2次伊豆市総合計画後期基本計画を推進するための事業を引き続き実施していきます。

特に「いずぐらしプロジェクト」「いのちを守るプロジェクト」を重点事業として位置づけ、持続可能なまちづくりを進めていきます。

1. 居心地（いごこち）の良い防災立市へ

事業費 14億4,136万円

今住んでいる若者世代がいつまでもここに住み、暮らしてもらうための支援をしていくとともに、命を守る取組みを進め、次の10年に向けた持続可能なまちを目指します。

いずぐらしプロジェクト

● 出会い・婚活支援事業 480万円

民間婚活事業者と連携して1年以内の成婚を目指す「1年成婚事業」を推進します。

● 移住定住促進事業 7,164万円

移住定住促進補助金の対象を見直し、若者世帯に特化するとともに、市内若者世帯の定住促進に向けて増築・リフォームを対象としたメニューを創設します。

● 放課後児童クラブ拡充事業 958万円

旧修善寺中学校給食棟を活用し、修善寺南小学区の待機児童解消を図ります。

● 中学生バス乗り放題事業 6,344万円

中学生の通学の利便性の向上をはじめとして、市内生徒間の交流や合同部活動の支援、市内の周遊を促進するため市内バスのフリーパスを配布します。

いのちを守るプロジェクト

● ひなた公園整備事業 4億1,319万円

日向地区に防災機能を兼ね備えた公園を整備します。（R8年度中供用開始予定）

● 危機管理センター整備事業 8億7,159万円

ひなた公園内に市の災害対策拠点となる危機管理センターを整備します。（R7年度完成予定）

● 津波避難防災訓練事業 550万円

土肥地区において観光客等を対象としたリアルな観光防災訓練を実施します。

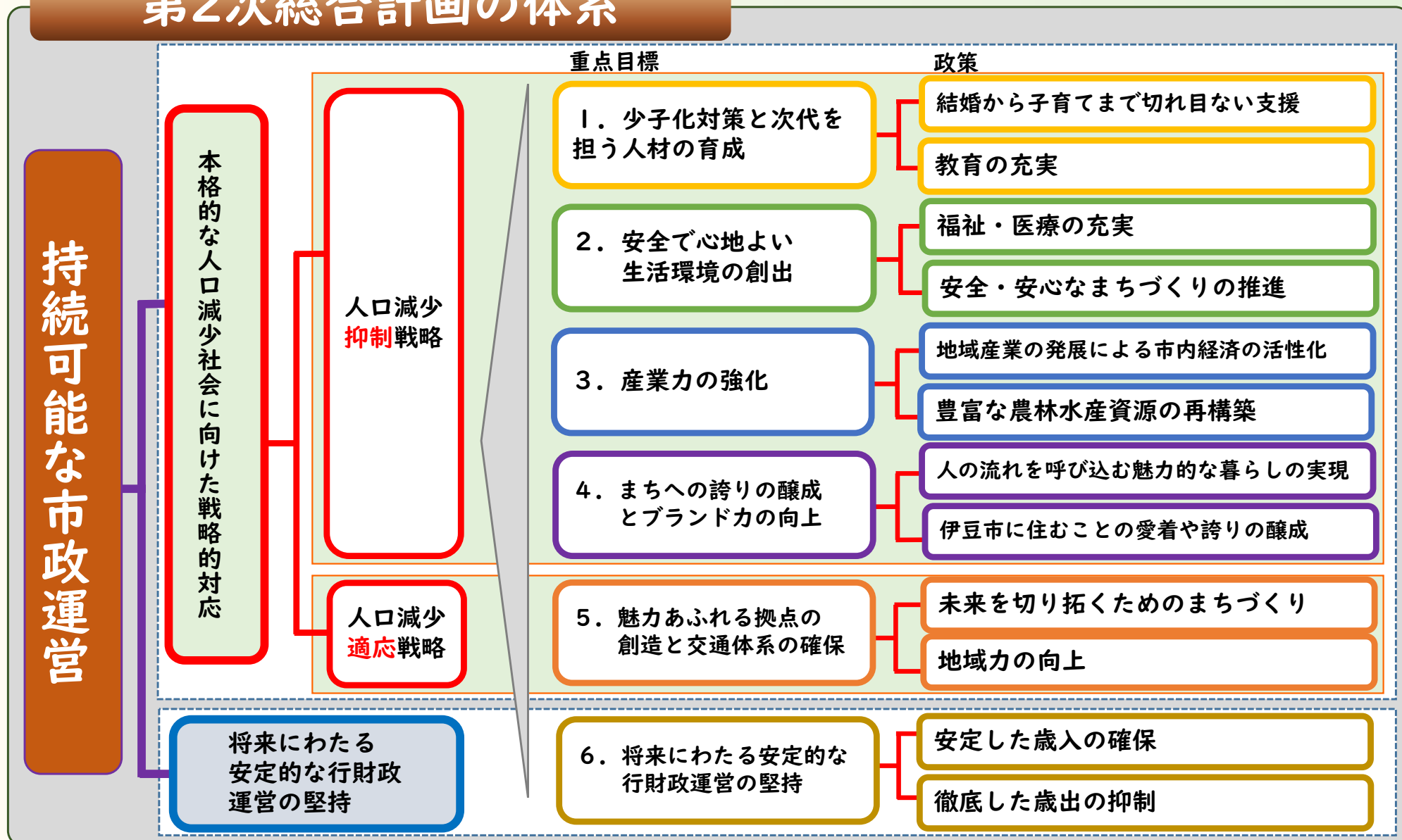
● 災害廃棄物仮置場対応訓練事業 162万円

大規模災害の際に各家庭から搬出される災害廃棄物に対応するための訓練を実施します。

5. 主要事業について

2. 総合計画を着実に推進するための施策

第2次総合計画の体系



5.主要事業について

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

新規

子育て施設環境整備事業

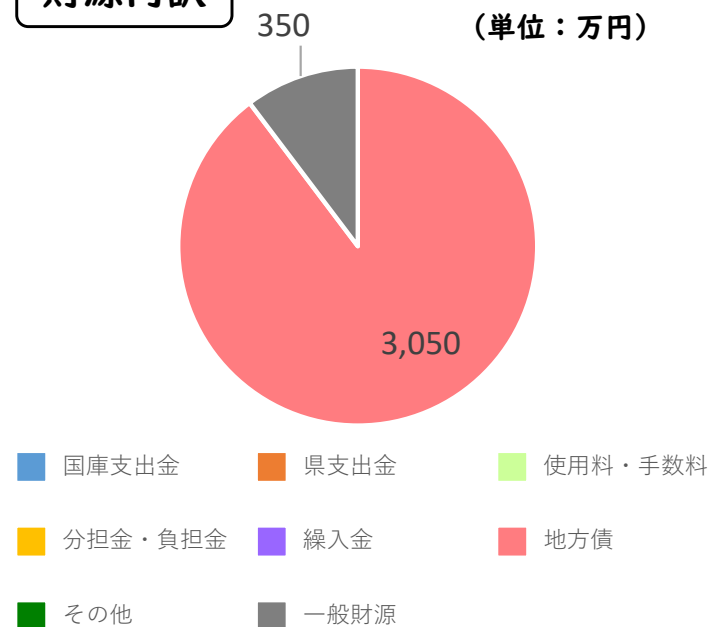
事業費 3,400万円

子ども達の安全性の確保などを図るため、子ども子育て支援事業債を活用し、こども園等の空調整備や遊具の更新、防犯カメラの設置工事を実施します。



財源内訳

(単位：万円)



担当課

子育て支援課

5.主要事業について

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

新規

中伊豆小学校移転事業

事業費 2億2,930万円

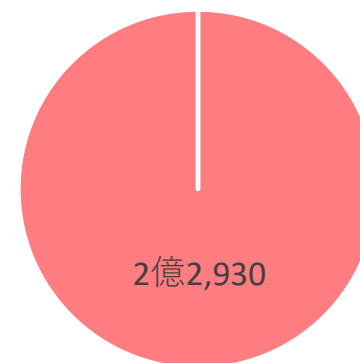
統合により廃校となる中伊豆中学校の跡地に中伊豆小学校を移転建替するための実施設計や、旧中学校校舎の解体を行います。
(新しい中伊豆小学校は令和10年度開校予定)



▲新中伊豆小学校 完成イメージ

財源内訳

(単位：万円)



担当課

学校教育課

5.主要事業について

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

拡充

学びの探求向上事業

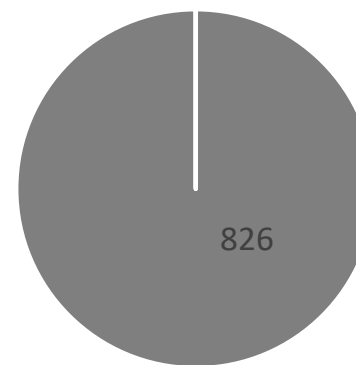
事業費 826万円

自分の興味関心の高い分野で学ぶ喜びを体感してもらうため、東京大学との交流事業や英会話を通じたコミュニケーション能力の醸成など、学校の枠を超えて児童の学習への関心を深める機会を創出します。



財源内訳

(単位：万円)



担当課

学校教育課

5.主要事業について

重点目標2

安全で心地よい生活環境の創出

2025年デフリンピック事業

事業費 324万円

日本サイクルスポーツセンターでの東京2025デフリンピック自転車競技開催に向けて、機運醸成や周知啓発、大会準備を進めます。

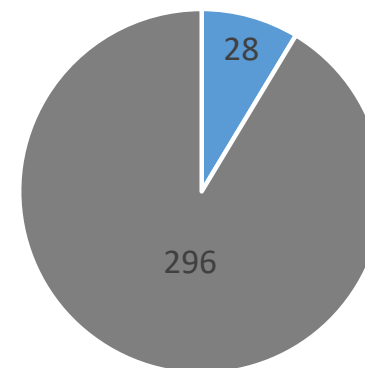
※デフリンピックとは・・・聴覚障がい者のための国際スポーツ大会



▲ロードの練習を行う選手

財源内訳

(単位：万円)



担当課

社会福祉課・観光商工課
社会教育課

5.主要事業について

重点目標 2

安全で心地よい生活環境の創出

時間外小児医療確保補助金

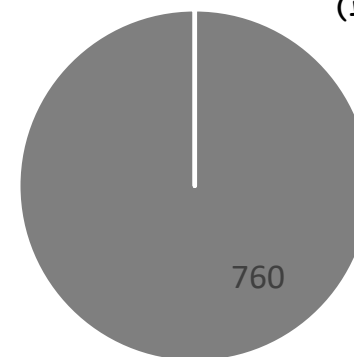
事業費 760万円

安心して子育てができる環境整備のため、早朝や夜間診療を実施した市内小児科医療機関に対し、補助金を交付します。



財源内訳

(単位：万円)



国庫支出金	県支出金	使用料・手数料
分担金・負担金	繰入金	地方債
その他	一般財源	

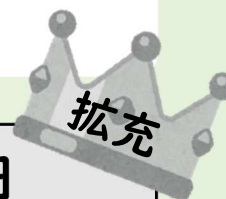
担当課

健康長寿課

5.主要事業について

重点目標3

産業力の強化



森林環境譲与税活用事業

事業費 6,950万円

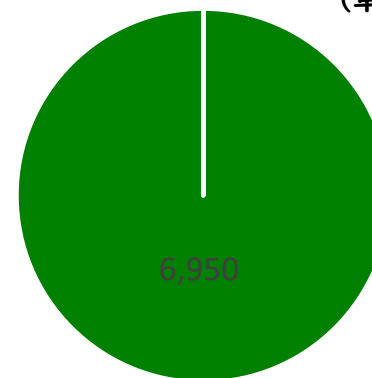
森林環境譲与税を活用し、新生児への記念プレートや二十歳を祝う式典での記念品配布、地元産材を使用して住宅等を建築した方への補助などを行います。



▲森林環境税活用事業ロゴマーク

財源内訳

(単位：万円)



担当課

農林水産課

5.主要事業について

重点目標3

産業力の強化

ふるさと観光地魅力化事業

事業費 6,130万円

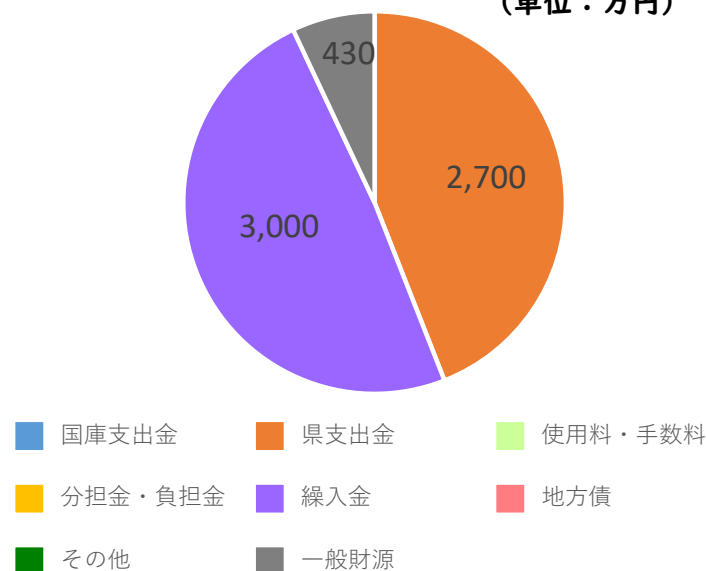
市内観光地の魅力向上・ブランド化のため、ふるさと納税を活用し修善寺地区の源氏公園改修工事・天城湯ヶ島地区の湯道整備に向けた測量設計を実施します。



▲源氏公園 完成イメージ

財源内訳

(単位：万円)



担当課

観光商工課

5.主要事業について

重点目標 4

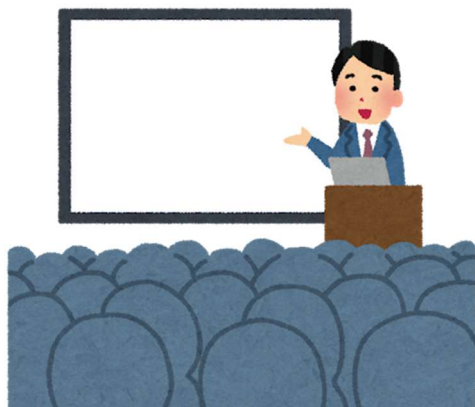
まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

新規

ビレッジプライド研修事業

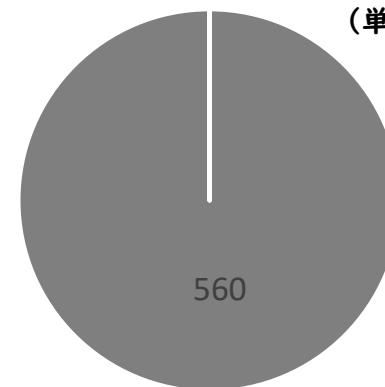
事業費 560万円

自分の働く場所・生活する地域に誇りを持ち、チーム力でしなやかに課題を解決する力を持つ人材の育成を図るため、スーパー公務員によるビレッジプライド研修を実施します。



財源内訳

(単位：万円)



担当課

総務課

5.主要事業について

重点目標4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

新規

おかえりIzUプロジェクト事業

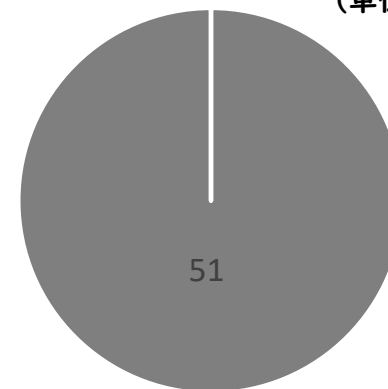
事業費 51万円

Uターンのきっかけづくり及び地域愛の醸成を図るため、首都圏に居住・勤務する20～30代で伊豆市出身者をメインターゲットにした交流会を実施します。



財源内訳

(単位：万円)



国庫支出金	県支出金	使用料・手数料
分担金・負担金	繰入金	地方債
その他	一般財源	

担当課

地域づくり課

5.主要事業について

重点目標 5

魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

修善寺駅周辺まちづくり検討事業

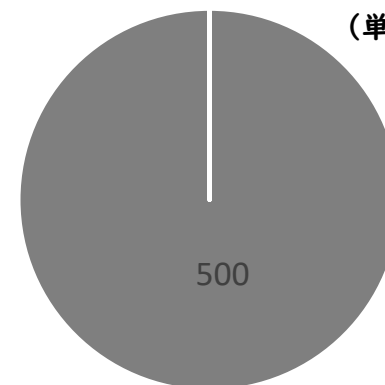
事業費 500万円

賑わいや魅力ある拠点創造のため、主要地方道伊東修善寺線の道路改良に合わせて策定したまちづくり基本構想の事業化に向けた検討などを行います。



財源内訳

(単位：万円)



担当課

都市計画課

5.主要事業について

重点目標 5

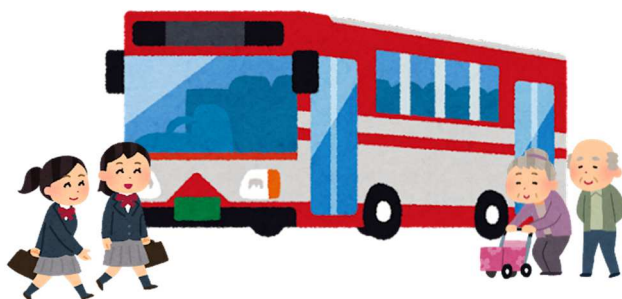
魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

地域公共交通推進事業

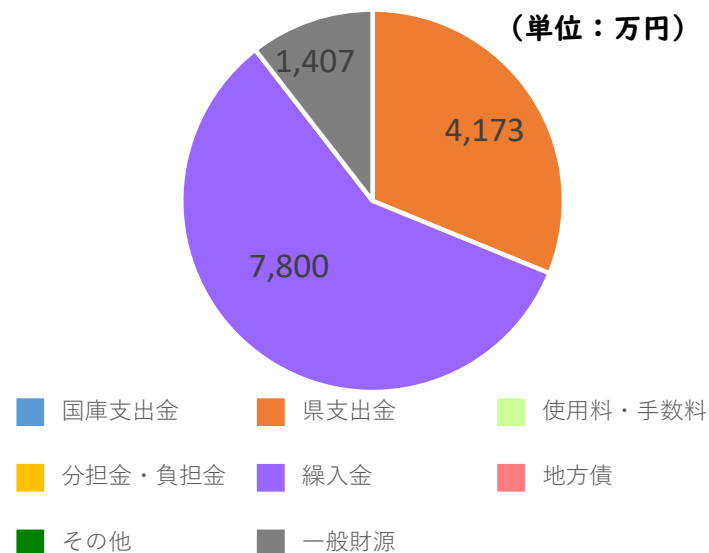
事業費 1億3,380万円

市内の路線バス運行の維持のため、バス事業者への運行委託及び補助を行います。

また、高校に通学する生徒の保護者の方々の負担軽減と路線バスの利用促進のため、通学費の補助を行います。



財源内訳



担当課

地域づくり課

5.主要事業について

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

ふるさと納税促進事業

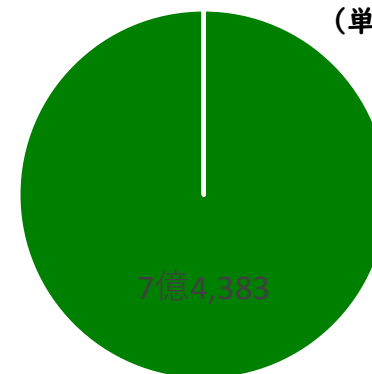
ノウハウを持つ民間事業者に外部委託し、返礼品の新規開拓やウェブサイト上での返礼品プロモーションの強化を行うことで、ふるさと納税寄付額のさらなる増加を図ります。



事業費 7億4,383万円

財源内訳

(単位：万円)



- | | | |
|---------|------|---------|
| 国庫支出金 | 県支出金 | 使用料・手数料 |
| 分担金・負担金 | 繰入金 | 地方債 |
| その他 | 一般財源 | |

担当課

企画財政課

5.主要事業について

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

旧八岳小学校解体改修事業

事業費 1億3,550万円

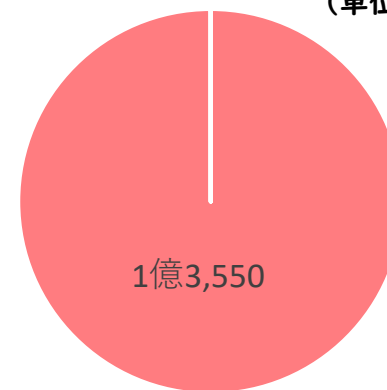
旧八岳小学校の一部を改修し、地域の活動拠点や避難施設として活用するとともに、未利用箇所については解体を行います。（令和7年度完成予定）



▲解体改修工事を実施する旧八岳小学校

財源内訳

（単位：万円）



担当課

資産経営課

令和 7 年度伊豆市のわかりやすい予算書

- 発行年月日 令和 7 年 3 月
- お問い合わせ先 伊豆市総合政策部企画財政課財政スタッフ
静岡県伊豆市小立野 3 8 番地の 2
電 話 (0 5 5 8) 7 2 - 9 8 5 9
F A X (0 5 5 8) 7 4 - 3 0 6 7